

邑南町ゼロカーボンシティ宣言

～CO₂排出削減のイイ話～

CO2排出による急激な温暖化で自然災害のリスクが高まり

世界は急激にCO2排出削減に向け大きく舵を切った

温暖化への対策は経済成長の制約ではなく

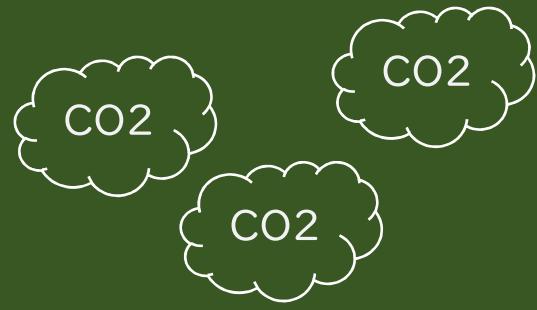
産業構造や経済社会に変革をもたらす発想の転換が求められている

邑南町は何ができるのか？

そんな疑問に答える“イイ話”を紹介したい

Q. CO₂排出削減しないとどうなるの？

■温暖化リスク

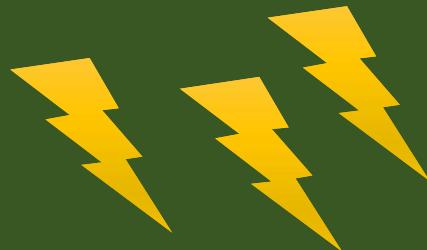


CO₂の排出量の増加

平均気温上昇



自然災害の
発生リスクが高まる



CO₂排出量が増加すると、平均気温が上昇し、自然災害のリスクが高まり、我々の暮らしに悪影響を及ぼす。

今のペースでCO₂の排出量が増えていくと…

A. 2100年ころ平均気温が今より**4.8度以上**に上昇すると予想されている。

だから…

自然災害のリスクをさけるためには、平均気温の上昇を**1.5°C**に抑える必要がある。

各自治体で「ゼロカーボンシティ」を表明

日本中の自治体が脱炭素社会への移行に動き始めた!

ゼロカーボンシティとは?

2050年にCO2の排出を全体として実質ゼロにすることを目指す旨を首長自ら公表した地方自治体のこと

毎年、日本のどこかで激甚化した自然災害により大きな被害を受ける街や人たちが多くあり、生命財産が奪われている現実がある。

この状況に向き合う自治体がゼロカーボンシティを宣言!

宣言する各自治体は、世界を守る一員としての自覚の下、この壮大な目標に挑む決意を固めた街である。

邑南町もゼロカーボンシティを宣言する!

Q. 脱炭素社会へ移行のため知っておくべきことは?

排出



人間の営み

吸收



町内の約86%を占める森林

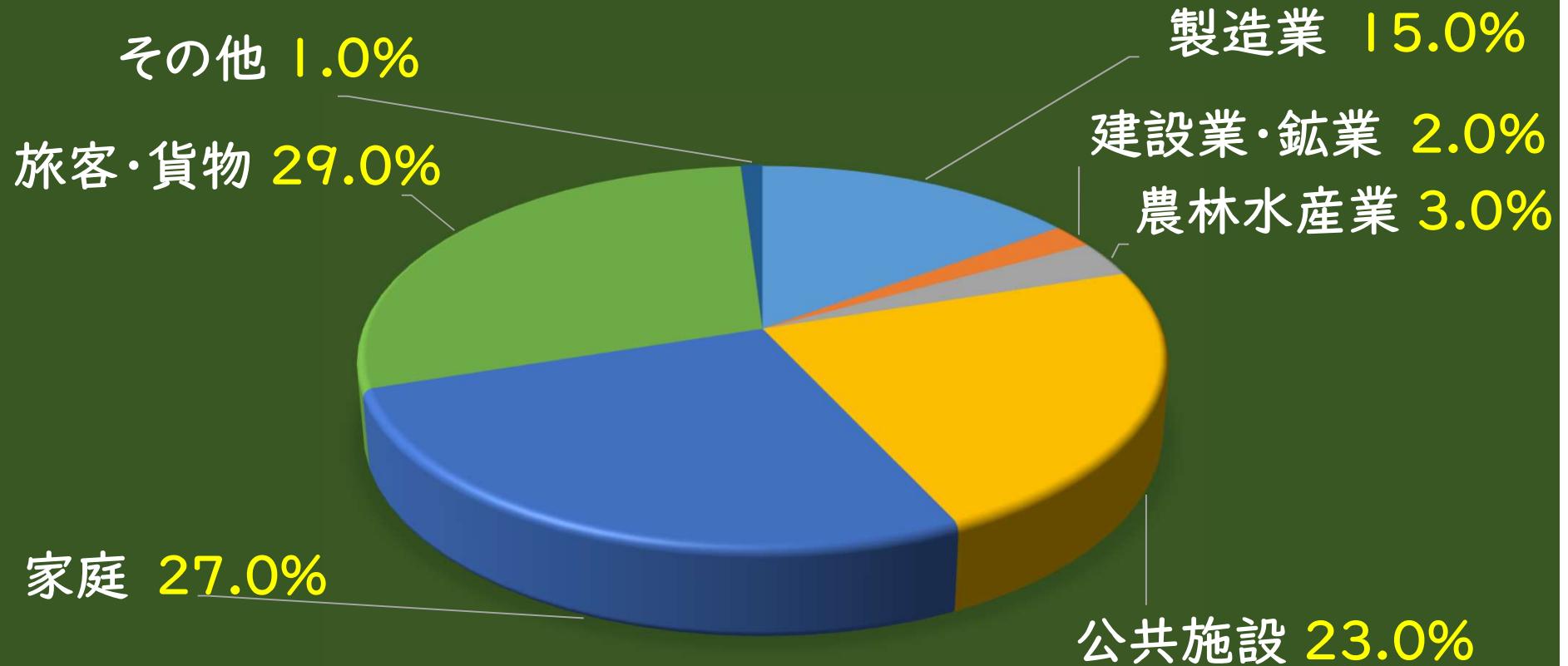
人間が生活する以上、CO₂の排出
を完全になくすことはできない…

CO₂吸収の能力をもっと増やすには、森林環境の保全整備が必要!

A.CO₂の排出を抑え、吸収を増やすことが必要がある!

邑南町のCO2排出割合状況

邑南町のCO2年間排出量約 102,208 t-CO2



邑南町でのCO2排出割合によると、全体の約8割を公共施設と家庭、旅客・貨物分野で占められている。

Q. 邑南町のみんなにできることは？

生活する上で、CO₂の排出はどうしても起きてしまう。

だからといって、それでいいわけではない。

排出を削減する工夫をすることはできる。

意識的に取組む工夫

無意識のうちにやってる工夫

いろんなCO₂排出削減の工夫がある。

それぞれの工夫には、

いろんな“イイ話”が隠れている。

分野	排出割合(邑南町)
製造業	15%
建設業・鉱業	2%
農林水産業	3%
公共施設	23%
家庭	27%
旅客・貨物	29%
その他	1%

A. 邑南町には脱炭素をめぐる様々な“イイ話”があった！

まずは・・

○○ × ゼロカーボン

の“イイ話”に耳を傾けてみよう！

旅客・貨物×ゼロカーボン

・公共交通機関を使うのがイイ!

MaaSの構築により、効率的な公共交通の運営が実現すると、公共交通による町内移動が便利になり、移動手段を自家用車利用から公共交通に変更するだけで、CO₂排出の削減につながる。自家用車から、たまにはバス移動に変えてみるのも立派な心がけ!



・公用車をエコカーがイイ!

電気自動車や燃料電池自動車が普及するとCO₂排出量が大幅に削減される!また、災害時には移動する蓄電池にもなる電気自動車は、停電時など、もしもの時に頼もしい存在になる!



家庭×ゼロカーボン

・無駄な電気は消すとイイ!

使っていない部屋などの電気がつけっぱなしだったり、使っていない家電製品をコンセントから抜いてみたり、ほんのひと手間が、CO₂排出削減につながり、家計にもお得!

また、電気を消して、邑南町の夜空を見上げてみれば、月の明るさに気づき、こぼれ落ちてきそうな満天な星空に圧倒される。

電気を消して、夜空に感激し、早く眠りにつけることは、邑南町生活の自慢かもしれない。

・おいしいごはんを残さず食べるとイイ!

食品ロスの削減は、食品の生産、加工、流通に使ったエネルギーと資源の無駄を防ぐことができる。また、食品ロスをなくせば、無駄な買い物が減り家計にやさしい!

また、輸送距離が短く済む地産地消もCO₂排出削減につながってます!邑南産の「野菜プラス!」は健康につながるだけでなく、CO₂排出削減に貢献できる!



公共施設・企業・事業所 ×ゼロカーボン

・再生可能エネルギーへ切り替えがイイ!

CO2排出の大きな理由のひとつに電力の由来が原因とされている。

そして近年、使用電源を再生可能エネルギー由来の電力に切り替える自治体や企業が増えている。使用する電力を再生可能エネルギーに転換することで、公共施設や町内の企業・事業所活動によるCO2排出量が削減される。



・省エネ対策がイイ!

町内のみんなが使う公共施設の省エネ化に取組むことで、無駄なエネルギーを消費しない施設へと生まれ変わる。無駄なエネルギーの消費がなくなれば、維持費も削減される上、CO2排出の削減にもつながる。

また、今では定番となったクールビズ等の取組みも効果的な省エネ対策!

室内の温度調節を服装で調節して電力利用に頼り切らなければ、節電にもなりお得!



地区別戦略×ゼロカーボン

・主演：邑南町民！

邑南町は「自分たちの地域を自分たちでつくる」が違和感なく言える町。

地区別戦略により、邑南町内12地区それぞれで抱える課題に向き合い取組む町。

12地区それぞれに感じる課題が違えば、その取り組み方も違う。ただ、共通していることは、誰一人としてエキストラではなく邑南町民すべてが主役であること。

各地区で、地域主体で論議を尽くして課題に向き合い、つながり、実践しながら、「地域づくり」「人づくり」が培われている。

これまで培った「地域づくり」「人づくり」は、邑南町の宝。

CO2排出削減実現には、一人ひとりの力が発揮される環境が必要不可欠で、邑南町全体で取組める基礎が整っている。



産直市×ゼロカーボン

・地産と地消を結ぶおいしい拠点がイイ!

道の駅瑞穂や雲井の里に並ぶ邑南町の野菜が選ばれる理由のひとつ。それは、収穫から出荷販売までの時間の短さ!町内産で輸送距離が短く、CO2の排出量も少ない!道の駅瑞穂や雲井の里には、そんな野菜たちが集まっている。

道の駅瑞穂や雲井の里は、地域内経済循環に一役買い、CO2削減に貢献する「おいしい拠点」である。



・エコカーが立ち寄れる街がイイ!

邑南町内には、まだまだ電気スタンドが設置されておらず、道の駅再整備を機に今後、普及するエコカーも安心して立ち寄れる施設に生まれ変わる。また、再エネ由来の電力が供給できる施設として、環境にやさしいドライブを応援する道の駅となり、CO2排出の少ない環境にやさしいドライブはこれから主流となっていく!



矢上高校×ゼロカーボン

・高校生のアイデアで街づくりがイイ!

矢上高校で開催される「未来フォーラム」は、高校生たちが、邑南町の課題や自分たちの興味関心に基づいて、課題解決の実践成果を発表する機会。

これまでにフードロス削減など、CO₂排出削減につながる発表もされてきた。

高校生たちは未来の担い手であり、高校生たちのアイデアに耳を傾けるとCO₂排出削減のヒントが隠れている！

また、環境教育の充実も子どもたちの感性を伸ばすために必要なこと！

よりよい邑南町を次の世代に渡すため、子どもも大人も関係なく真剣な気持ちになれるこうした機会は大切にしたい。



エネルギー×ゼロカーボン

・「創る」と「使う」の町内循環がイイ!

町内で使うエネルギーを町内で生み出し、エネルギーの「創る」と「使う」結びつけば、エネルギーの地産地消が実現する。

町内でできるエネルギーを使えば、化石燃料への依存度が下がり、CO₂排出量も削減される。

また、化石燃料は、多くを海外からの輸入に頼り、年間約20兆円もの燃料費が海外に流出しているとも言われている。

水明メガソーラーをはじめ、町内には、再生可能エネルギーを創りだす環境が整いはじめ、太陽光発電に限らずバイオマスや小水力など再生可能エネルギーを創り出すポテンシャルを感じる。

化石燃料への依存を抑え、町内でエネルギーの「創る」と「使う」の結びつきができるということは、エネルギー消費に費やしていた消費を、町内消費にすることができ、地域経済循環が活発になる!



林業×ゼロカーボン

・森林からの恵みがイイ!

これまで、長い時間をかけ多くの先人たちによって守り継がれてきた、邑南町の森林。

我々は森林から多大な恩恵を受けながら暮らしている。

木材は建物を支える柱や建具など姿を変え、私たちの生活に溶け込んでいる。

そして今、改めて人間の営みにより排出されるCO₂を吸収してくれる存在であることが注目され、森林の偉大さにハッとさせられる。

排出されたCO₂を吸収する森林もその能力が持続していくためには、手入れが必要不可欠。

そして、CO₂を吸収している森林から伐り出された木材は、建物を支える柱や建具として使い続けければ、CO₂を閉じ込めたまま新たな役割を全うする。

また森林を手入れする過程で出る、間伐材をバイオマスエネルギーとして活用するなど、エネルギーの地域内循環が生まれると、森林を守る営みが再認識され、改めて森林からの恵みに感謝できる!



農業×ゼロカーボン

・田や畠の恵みがイイ！

邑南町の田や畠から作られた農産物は、どれもうまい！

我々は、それらを当たり前に食し、おいしい思いをさせてもらっている。

田や畠から作られるのは農産物に限らない。今や電気も田や畠に営農型太陽光発電を導入し、電気作ることができる時代となった。

この電力を農産物の生産過程で活用したり、町内で消費できると、生産過程のCO₂排出量が削減につながり、農産物の新しい価値となる！



出典：農林水産相Webサイト(<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/renewable/energy/einou.html#02>)

ハンザケ×ゼロカーボン

・森林が守られればハンザケにもイイ!

邑南町の86%を占める森林は、CO₂を吸収をしたり木材を供給し、人間の営みを支える存在であるが、支えられているのは人間だけではない。

特別天然記念物に指定されているオオサンショウウオも森林と水源の恩恵を受けており、邑南町では“ハンザケ”ト呼ばれ親しまれています。多くのハンザケが生息している。

森林を整備することはCO₂の吸収を図るだけでなく、綺麗な水源を保ち、ハンザケの生息環境をもたらしてくれる。



・オオナン・ショウは人気者だナン!

邑南町のマスコットキャラクターのオオナン・ショウは、邑南町で親しまれているハンザケの仲間であり、邑南町を盛り上げてくれるみんなの人気者!

邑南町のことが大好きなオオナン・ショウにとって、邑南町がゼロカーボンシティ宣言をして環境を守ろうとすることは、住みやすくなる環境が守れるということ!

住みよい環境が守られれば、オオナン・ショウの人気も不動のものだナン!



これまで邑南町が培ってきた取組みのその先に

晴れ渡る空のように輝く邑南町がある

邑南町の人たちのイイ選択の積み重ねが

スローでちょっとずつ

CO2の排出を全体として実質ゼロにするという壮大な目標を現実のものとする

ちょっと先の未来には

着実に

CO2が削減され大きな自然災害の少ない

環境と経済を両立した住みよい邑南町がある